

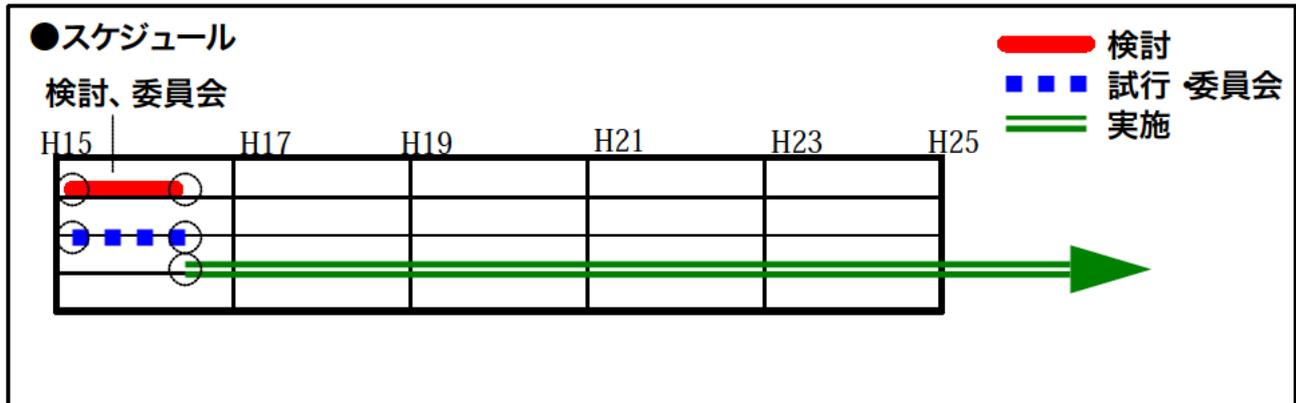
説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.17	行	6行目
事業名	応急的堤防強化		河川名	支川 山科川、東高瀬川		
府 県	京都府	市町村	京都市	地先	－	

●現状の課題
現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針
②応急的な堤防強化
破堤の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえ、応急的な堤防強化を実施。
その際、被害の分散化、上下流バランス、投資効率を検討。

●位置図

●具体的な整備内容
堤防危険度調査を実施の上、応急的堤防強化を実施

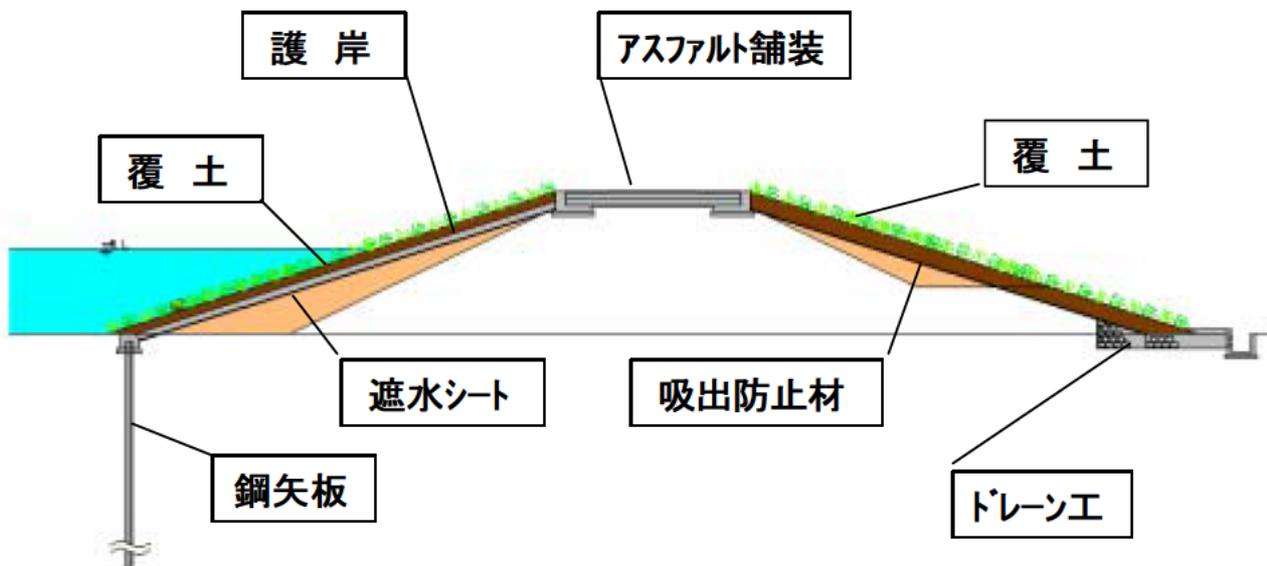


●平面図

山科川等



●横断面図



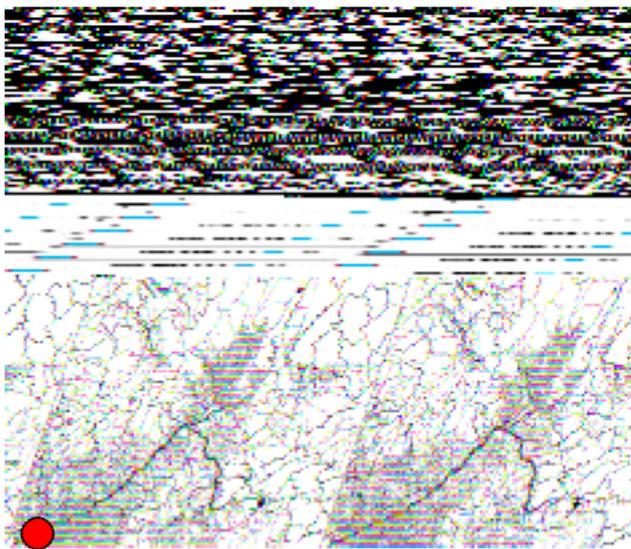
応急的堤防強化対策の一例

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 2	ページ	p.17	行	8行目
事業名	阪神西大阪線淀川橋梁改築事業 (再掲)		河川名	淀川		
府 県	大阪府	市町村	大阪市	地先	此花区伝法外	

●現状の課題
 一部の橋梁横断部では所定の堤防高さを有しておらず、中には高潮時には陸閘によって浸水を防ぐことを余儀なくされた橋もあり、陸閘操作時には、鉄道及び幹線道路が遮断されることから、社会経済上大きな影響を与えている。

●河川整備の方針
 橋梁取り付け部の整備と周辺の土地利用との調整に多大な時間とコストが必要であり、堤防強化との優先度を十分に判断し、実施する。

●位置図

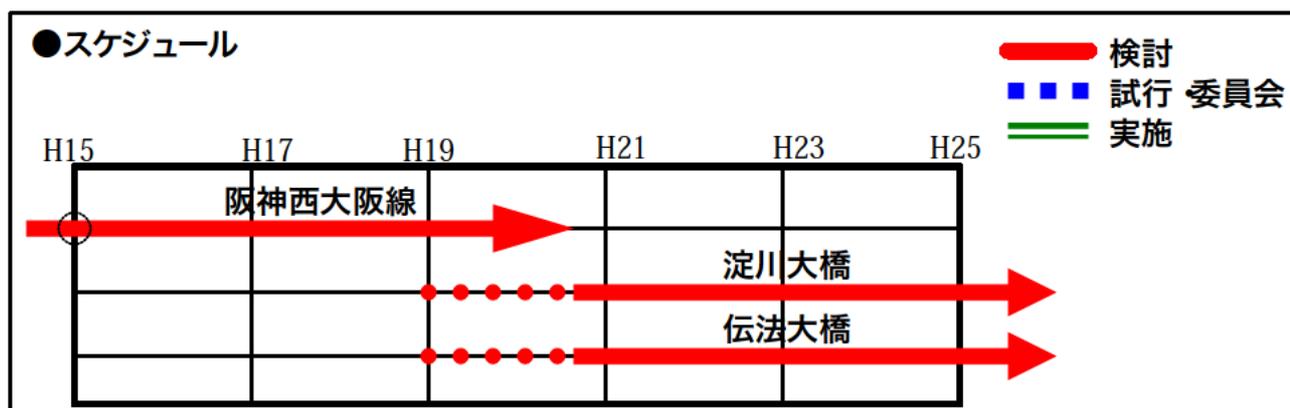


事業箇所

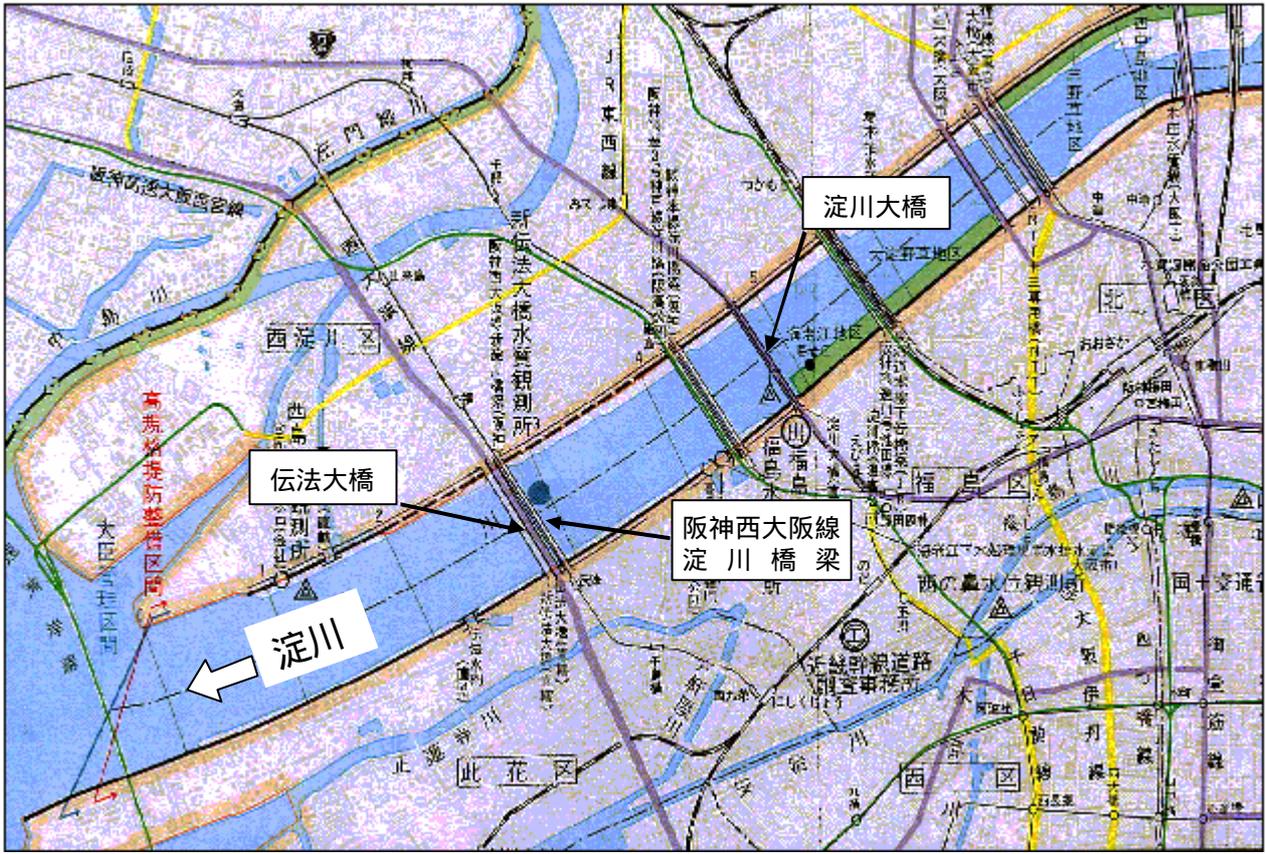
●具体的な整備内容
 阪神電鉄西大阪線淀川橋梁の改築の実施時期を検討する。
 他の同様の橋梁 (淀川大橋、伝法大橋) の改築を検討する。

事業の数量 諸元等
 橋梁改築 L= 860m (11径間)
 陸上取付部改築
 右岸部 L= 910m
 左岸部 L= 790m

●事業費
 全体事業費 約 600億円
 (但し、阪神西大阪線淀川橋梁のみ)



位置図



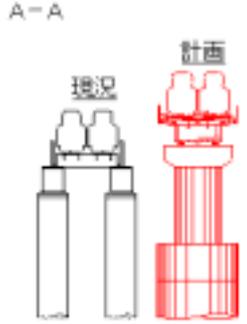
構造図

阪神西大阪線 淀川橋梁

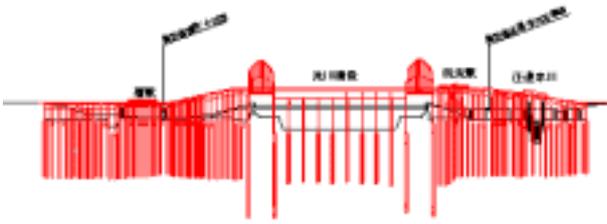
平面図



断面図



橋梁一般図



高潮時写真



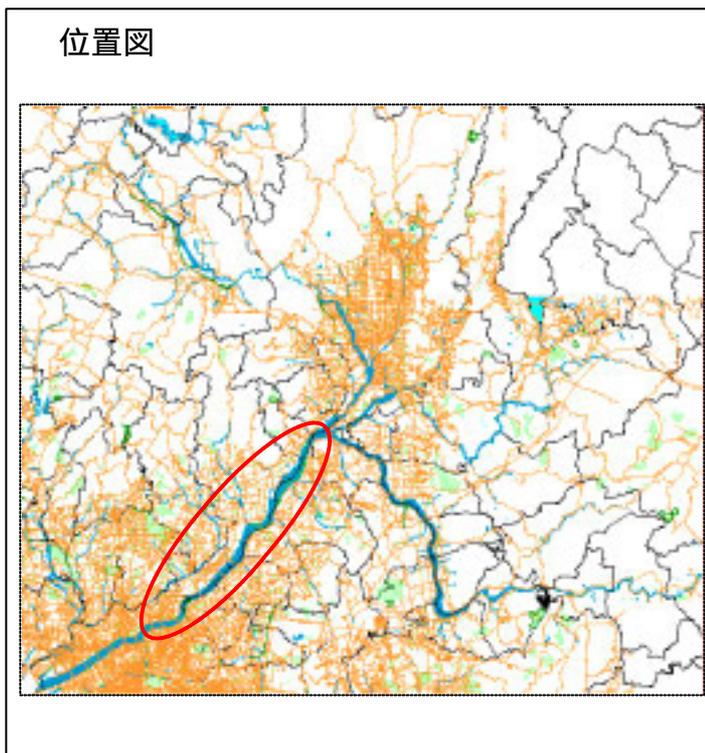
陸閘写真



説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5.3.3	ページ	p.17	行	14行目
事業名	緊急用河川敷道路事業		河川名	淀川			
府 県	大阪府 京都府	市町村	淀川沿川		地先	-	

現状の課題
 兵庫県南部地震時には、建物の崩壊等により陸上交通がマヒし、負傷者の輸送や復旧作業のための資材輸送等に支障を生じたことから、震災時の緊急輸送を目的として淀川の船着場の整備とあわせて、河川敷内に緊急用河川敷道路を整備してきたところであるが、淀川大堰から三川合流点までの区間で連続的に通行できない区間(約5km)がある。

河川整備の方針
 河川管理施設被災時の早期復旧や緊急物資輸送等の手段として緊急用河川敷道路及び船着場の残箇所については早期に完成させる。



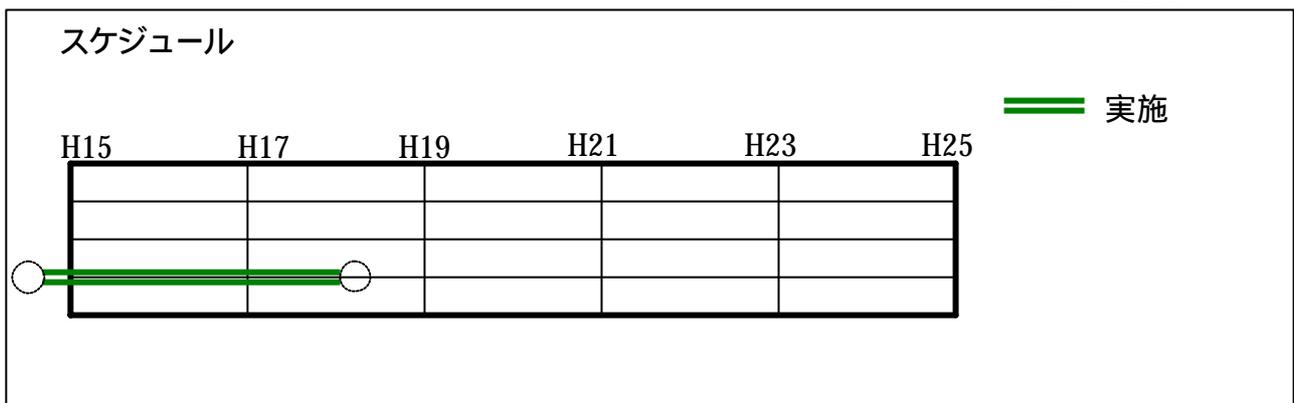
具体的な整備内容

淀川大堰から三川合流点まで
継続実施

事業の数量 諸元
等 全体数量
延長 約 53km

・〆整備計画期間内数量
延長 約 5km

事業費
全体事業費 約 55億
円
・〆整備計画期間内事業費
約 11億円

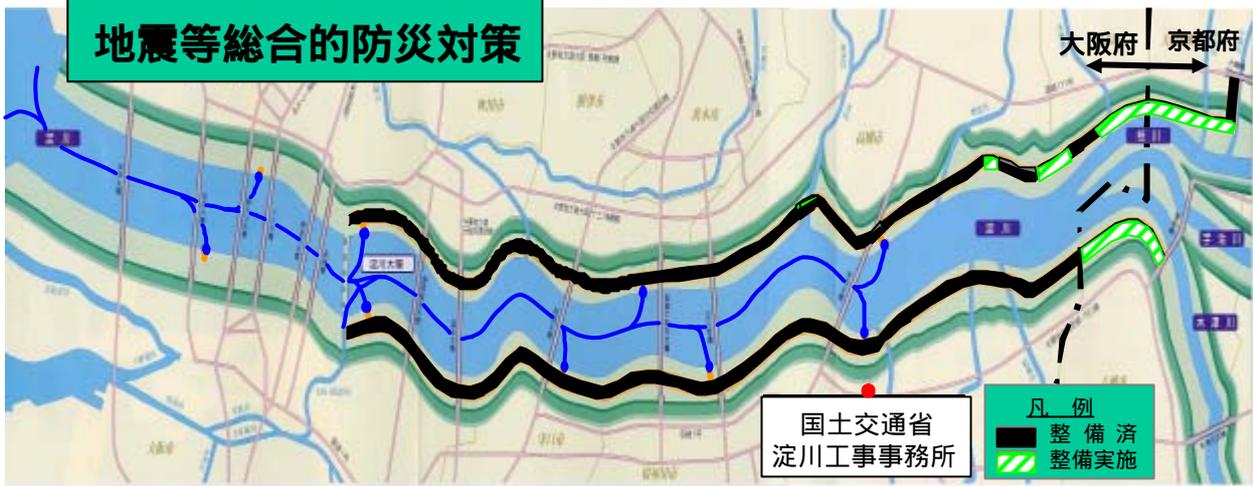


緊急用河川敷道路及び船着場イメージ



平面図

地震等総合的防災対策



横断面図



説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5.3.3	ページ	p.17	行	16行目
事業名	緊急用船着場事業		河川名	淀川			
府県	大阪府	市町村	大阪市福島区		地先	海老江	

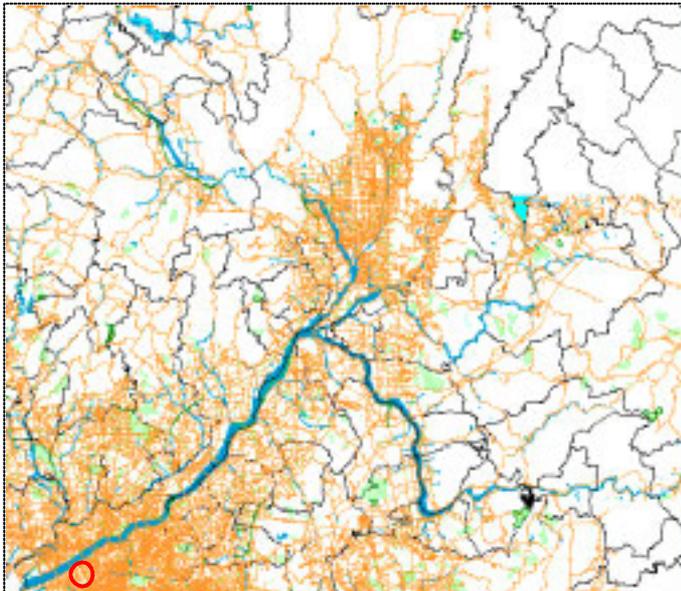
現状の課題

兵庫県南部地震時には、建物の崩壊等により陸上交通がマヒし、負傷者の輸送や復旧作業のための資材輸送等に支障を生じたことから、震災時の緊急輸送を目的として淀川の船着場の整備とあわせて、河川敷内に緊急用河川敷道路を整備してきたところであるが、淀川大堰から三川合流点までの区間で連続的に通行できない区間(約5km)がある。

河川整備の方針

河川管理施設被災時の早期復旧や緊急物資輸送等の手段として緊急用河川敷道路及び船着き場の残箇所については早期に完成させる。

位置図



具体的な整備内容

海老江、柴島地区において船着場整備の継続実施

事業の数量 諸元等

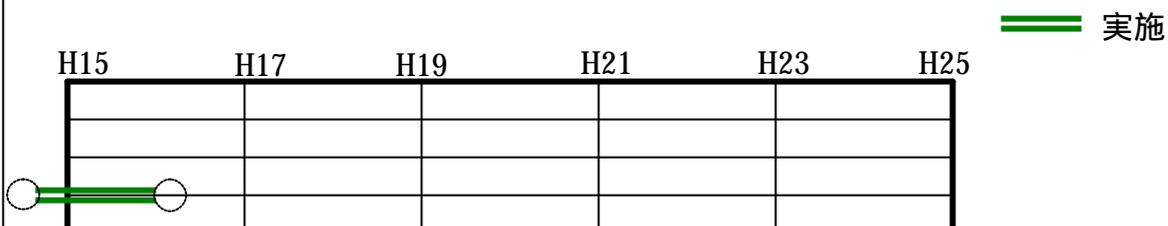
海老江船着場
淀川左岸 4.9km付近

延長 L = 70m
喫水 H = 2m以上

事業費

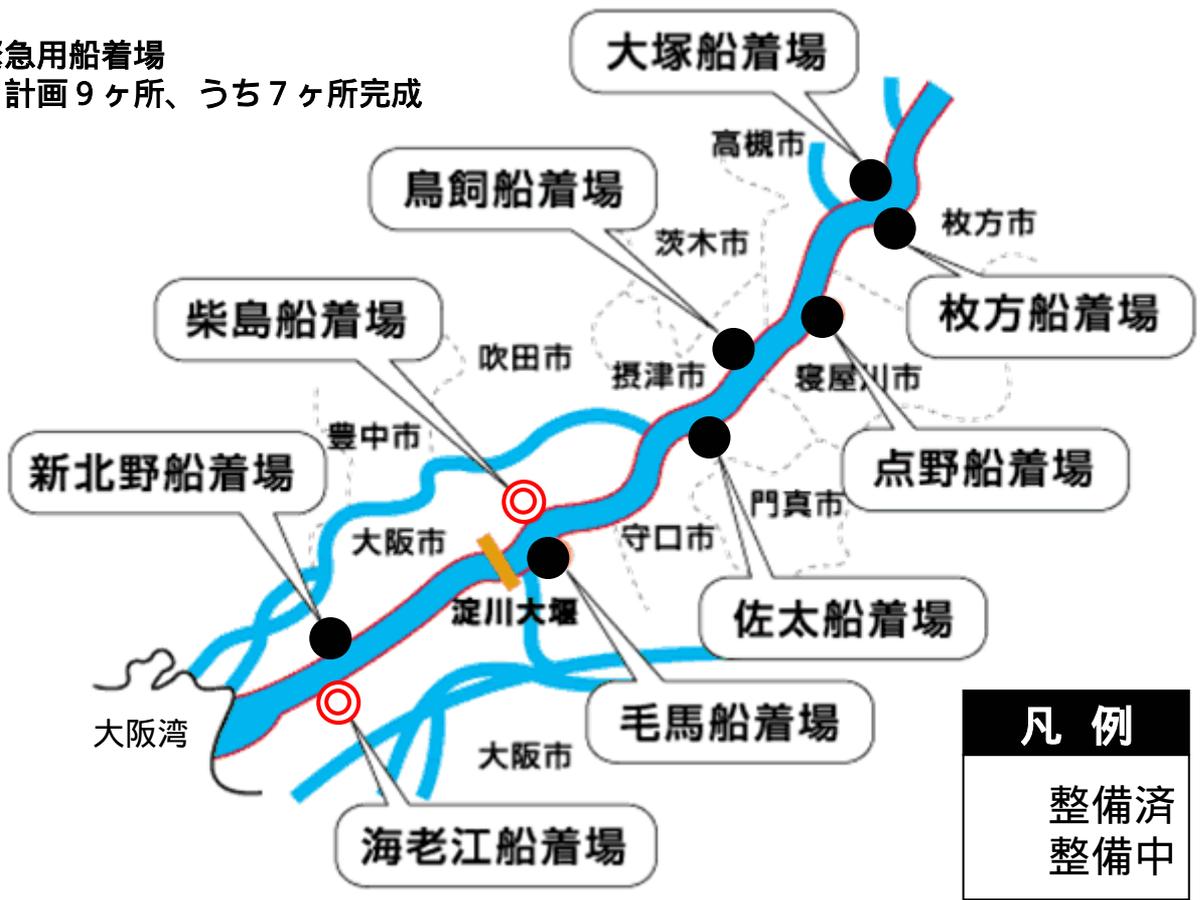
全体事業費 約 7億
円
・うち整備計画期間内
事業費
約 6億円

スケジュール



平面図

緊急用船着場
計画9ヶ所、うち7ヶ所完成



イメージ写真



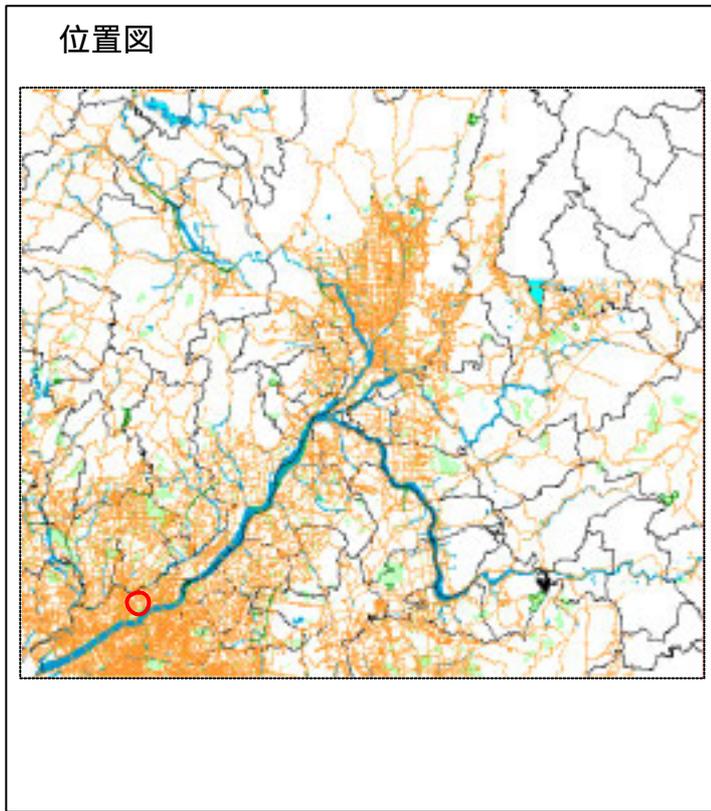
海老江船着場イメージ



説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5.3.3	ページ	p.17	行	16行目
事業名	緊急用船着場事業		河川名	淀川			
府県	大阪府	市町村	大阪市東淀川区	地先	柴島		

現状の課題
 兵庫県南部地震時には、建物の崩壊等により陸上交通がマヒし、負傷者の輸送や復旧作業のための資材輸送等に支障を生じたことから、震災時の緊急輸送を目的として淀川の船着場の整備とあわせて、河川敷内に緊急用河川敷道路を整備してきたところであるが、淀川大堰から三川合流点までの区間で連続的に通行できない区間(約5km)がある。

河川整備の方針
 河川管理施設被災時の早期復旧や緊急物資輸送等の手段として緊急用河川敷道路及び船着き場の残箇所については早期に完成させる。



具体的な整備内容
 ・海老江、柴島地区において船着場整備の継続実施

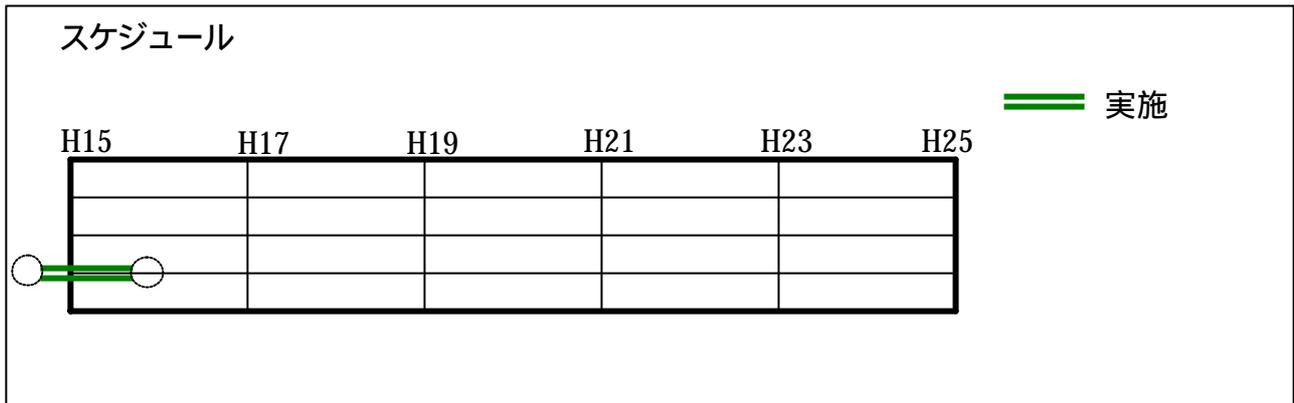
事業の数量 諸元等

柴島船着場
 淀川右岸 10.3km付近

延長 L = 80m
 喫水 H = 2m以上

事業費
 全体事業費 約 2億
 円

・右整備計画期間内
 事業費
 約 0.4億円



平面図

緊急用船着場
計画9ヶ所、うち7ヶ所完成



写真



佐太船着場の例



柴島船着場

説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5.3.3	ページ	p.17	行	17行目
事業名	船着場機能維持事業		河川名	淀川			
府県	大阪府	市町村	大阪市～枚方市		地先	-	

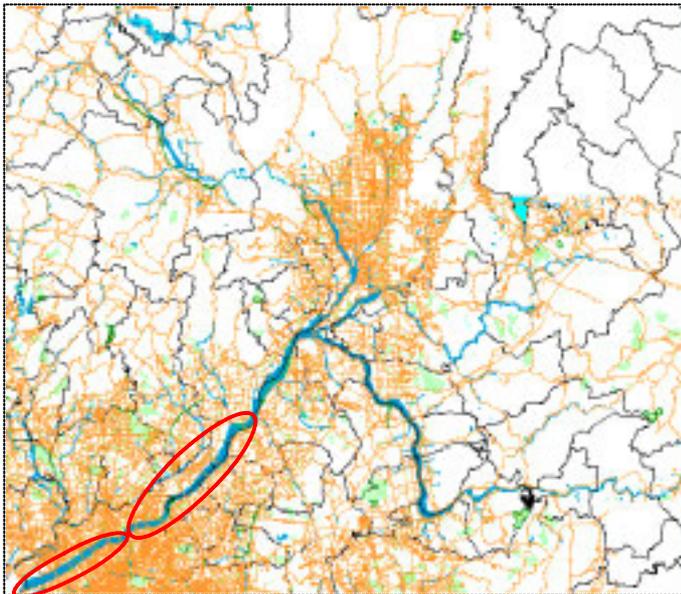
現状の課題

兵庫県南部地震時には、建物の崩壊等により陸上交通がマヒし、負傷者の輸送や復旧作業のための資材輸送等に支障を生じたことから、震災時の緊急輸送を目的として淀川の船着場の整備とあわせて、河川敷内に緊急用河川敷道路を整備してきたところであるが、淀川大堰から三川合流点までの区間で連続的に通行できない区間(約5km)がある。

河川整備の方針

河川管理施設被災時の早期復旧や緊急物資輸送等の手段として緊急用河川敷道路及び船着き場の残箇所については早期に完成させる。

位置図



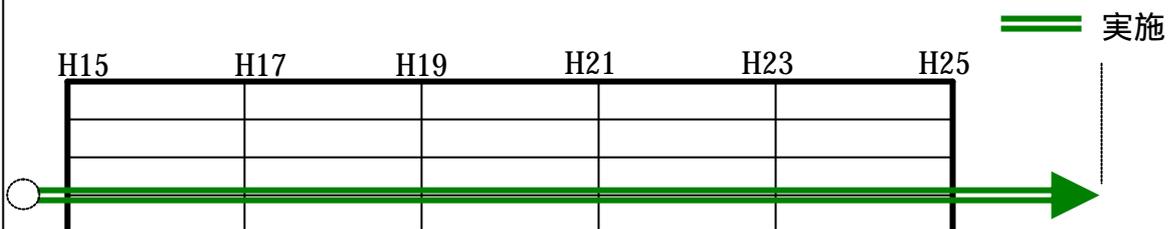
具体的な整備内容

船着場の機能維持

事業の数量 諸元等

船着場 土砂撤去等 9箇所

スケジュール



状況写真

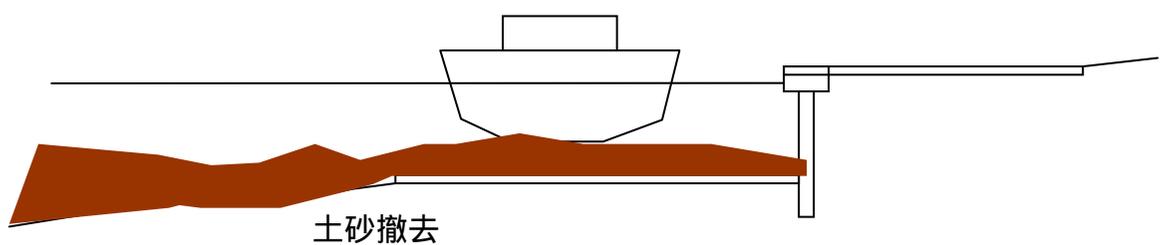
緊急用船着場 9箇所



佐太船着場の状況



横断図



説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5.3.3	ページ	p.17	行	18行目
事業名	航路確保事業		河川名	淀川			
府県	大阪府	市町村	大阪市~枚方市		地先	-	

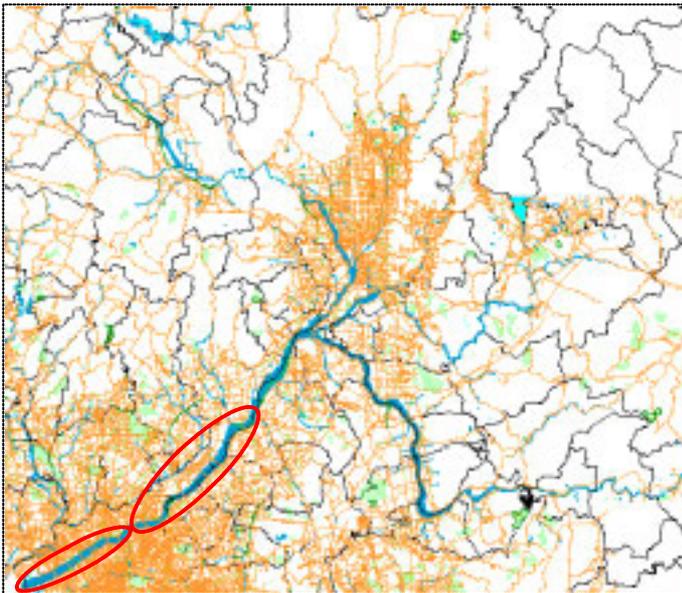
現状の課題

兵庫県南部地震時には、建物の崩壊等により陸上交通がマヒし、負傷者の輸送や復旧作業のための資材輸送等に支障を生じたことから、震災時の緊急輸送を目的として淀川の船着場の整備とあわせて、河川敷内に緊急用河川敷道路を整備してきたところであるが、淀川大堰から三川合流点までの区間で連続的に通行できない区間(約5km)がある。

河川整備の方針

河川管理施設被災時の早期復旧や緊急物資輸送等の手段として緊急用河川敷道路及び船着き場の残箇所については早期に完成させる。

位置図



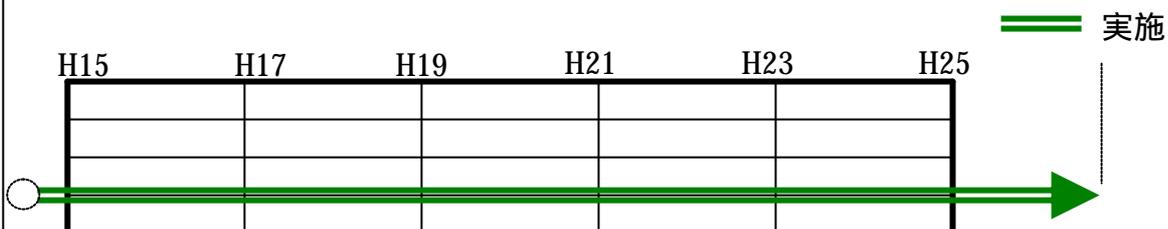
具体的な整備内容

河口から淀川大堰、淀川大堰から枚方までの航路を確保

事業の数量 諸元等

土砂撤去等 延長 約 26 km

スケジュール



写真

航路維持イメージ



航路維持イメージ



説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5.3.3	ページ	p.18	行	3行目
事業名	淀川堤防耐震対策事業		河川名	淀川本川			
府県	大阪府	市町村	大阪市		地先	柴島	

現状の課題
 堤防耐震を検討した結果、平常時の河川水位が堤内地盤高よりも高い区間(河口から上流約17km)の中で、一部の区間(約1,300m)で堤防の破壊により河川から浸水するおそれがある。

河川整備の方針
 堤防の耐震補強対策を継続実施する。

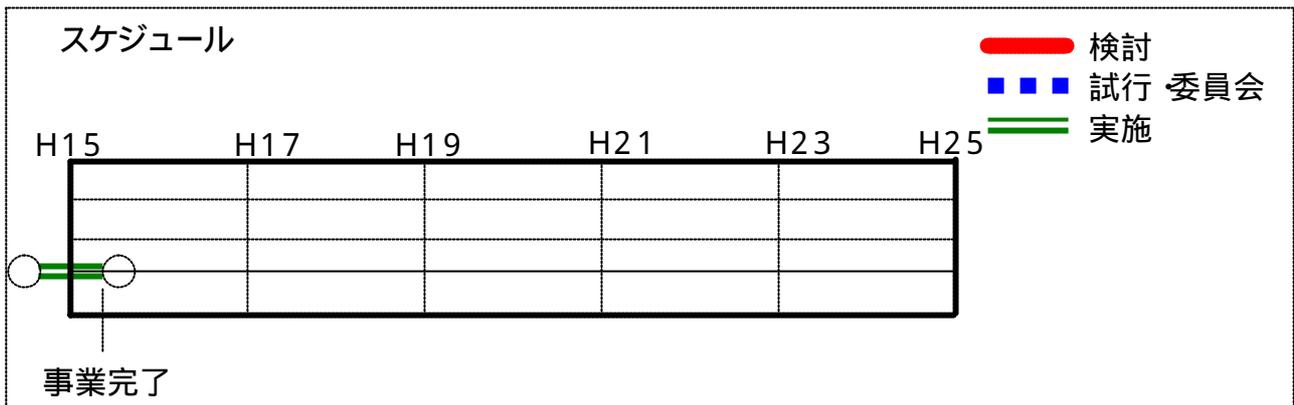
位置図

具体的な整備内容
 柴島地区において耐震補強を実施

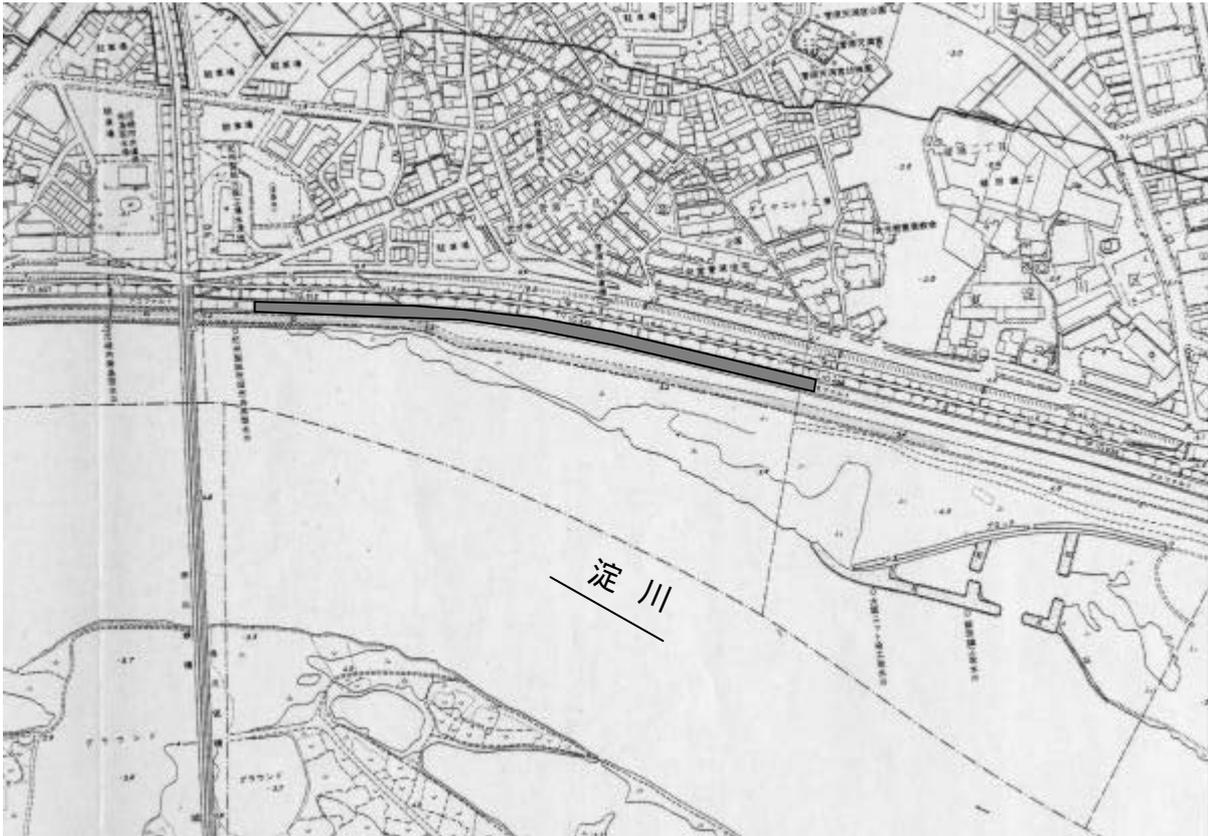
事業の数量 諸元等
 地盤改良 L= 320m
 排水機能付き鋼矢板 L= 120m

・うち整備計画期間内の数量 諸元等
 地盤改良 L= 40m
 排水機能付き鋼矢板 L= 10m

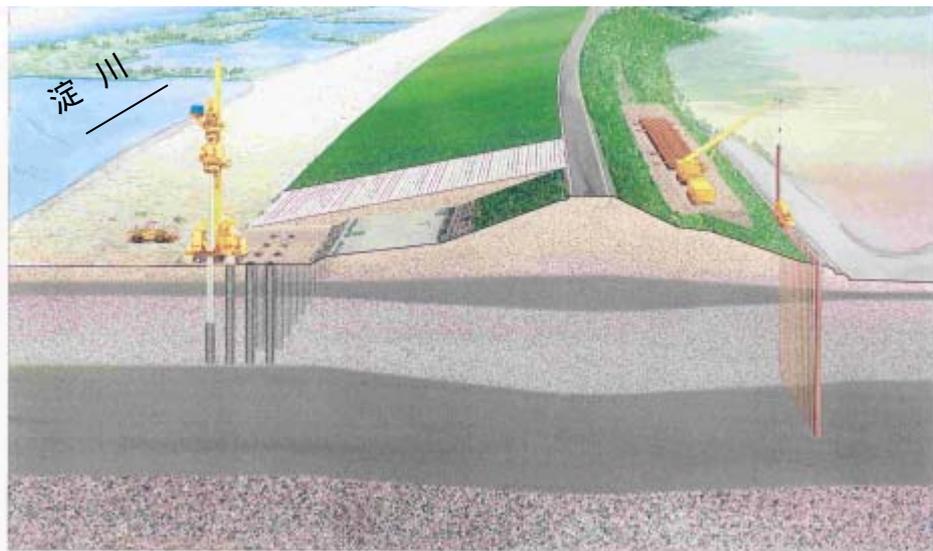
事業費
 全体事業費 約 8億円
 ・うち整備計画期間内事業費 約 1億円



平面図



横断面図

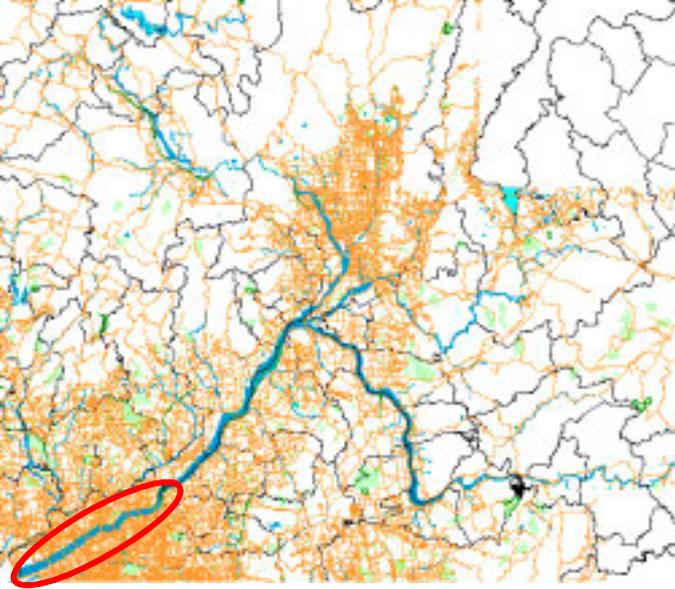


説明資料 (第1稿)での記載箇所	章項目	5.3.3	ページ	p.18	行	追加分
事業名	淀川堤防耐震対策事業		河川名	淀川本川		
府 県	大阪府	市町村	大阪市、守口市		地先	伝法ほか

現状の課題
 堤防耐震を検討した結果、平常時の河川水位が堤内地盤高よりも高い区間(河口から上流約17km)の中で、一部の区間(約1,300m)で堤防の破壊により河川から浸水するおそれがある。

河川整備の方針
 堤防の耐震補強対策を継続実施する。

位置図

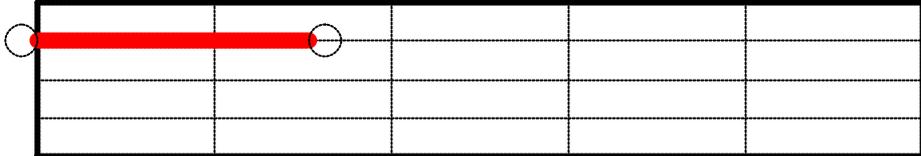


具体的な整備内容
 堤防耐震残区間の実施方策を検討。

検討内容等
 残区間延長 約1Km

スケジュール

H15 H17 H19 H21 H23 H25

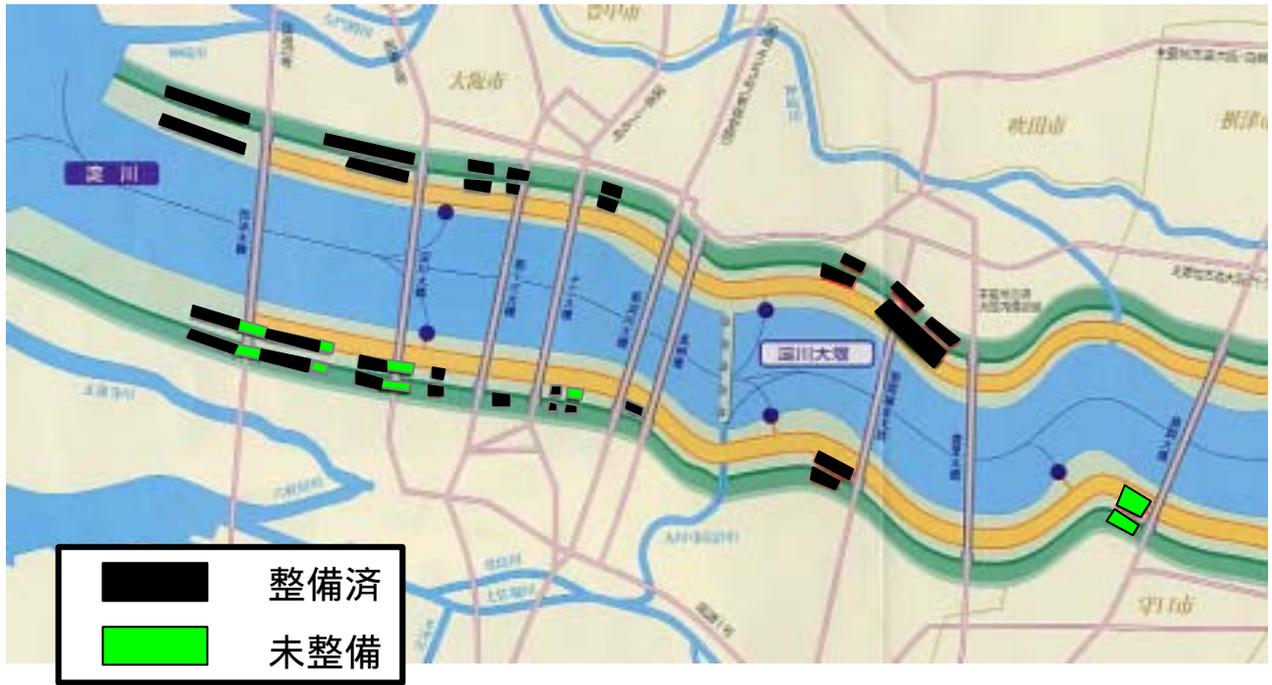


■ 検討

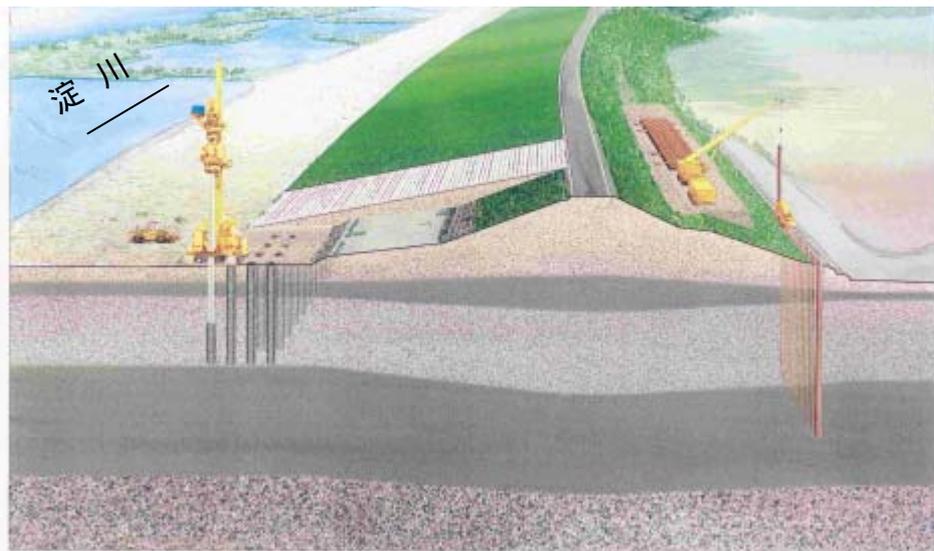
■ 試行 委員会

■ 実施

平面図



横断面図



説明資料(第1稿)での記載箇所	章項目	5.3.3	ページ	p.18	行	4行目
事業名	淀川大堰、毛馬排水機場の耐震対策		河川名	淀川		
府県	大阪府	市町村	大阪市北区	地先	毛馬	

現状の課題
 淀川大堰や毛馬排水機場等の一部を除き、完成以降20~30年経過している河川管理施設について耐震点検が実施されておらず安全性が確認されていない。

河川整備の方針
 排水機場、樋門等の耐震点検を実施するとともに耐震対策を進めていく。

位置図

具体的な整備内容

淀川大堰、毛馬排水機場の耐震対策実施

事業の数量 諸元等

淀川大堰本体の耐震補強対策
 毛馬排水機场上屋の耐震補強対策

事業費

全体事業費 約26億円

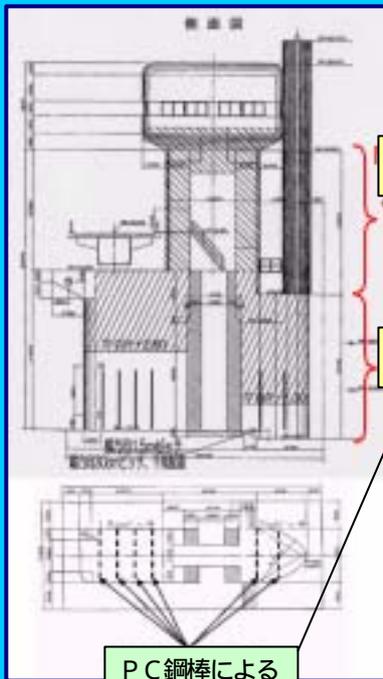
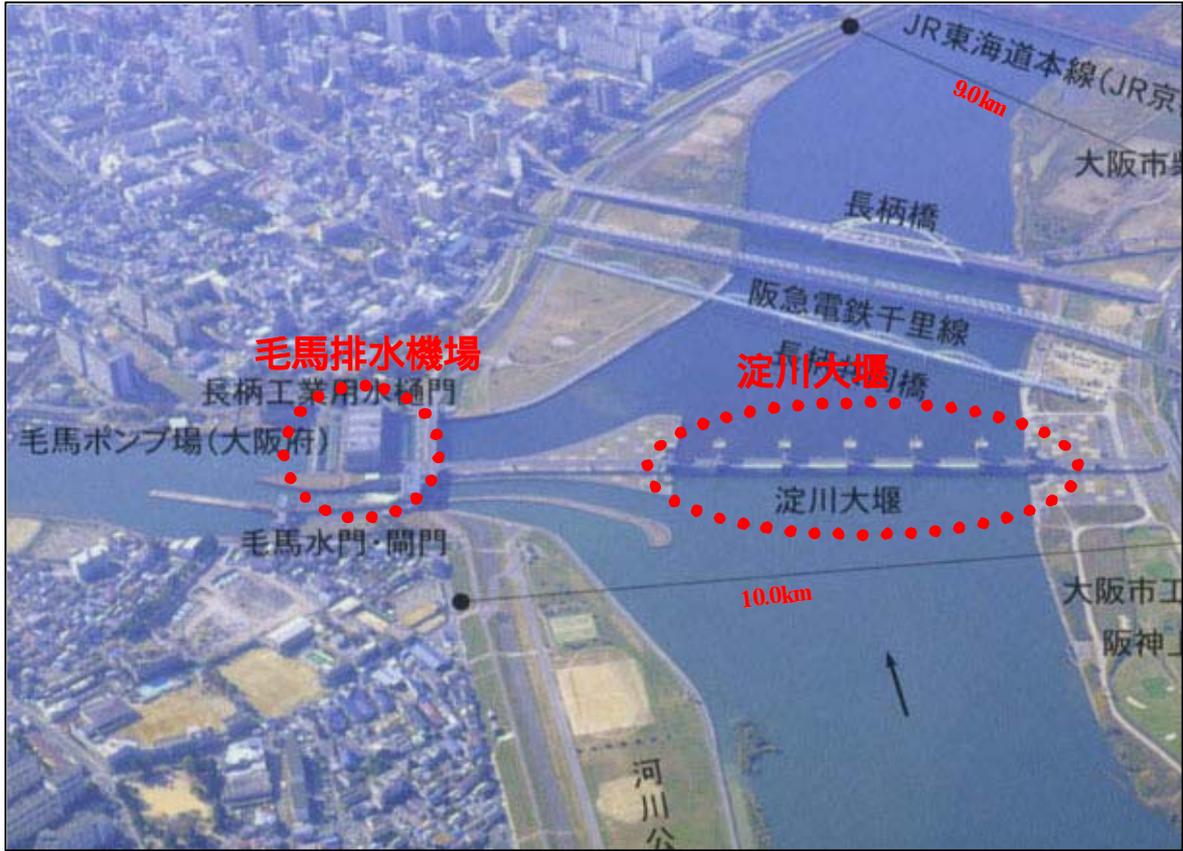
うち整備計画期間内事業費 約26億円

スケジュール

■ 検討
■ 実施

H15	H17	H19	H21	H23	H25
●					
	●		●		

淀川大堰周辺



門柱部

堰柱部

鋼板巻き立て

PC鋼棒によるせん断力増強

■ 現状の問題
 阪神淡路大震災以降、耐震設計の見直しが進められている。
 大規模重要施設である淀川大堰について耐震補強対策を早急に進める必要がある。



■ 実施対策

- 門柱部
門柱表面に鋼板を巻き立て、部材強度を高める
- 堰柱部
堰柱にPC鋼棒を貫通し、せん断力を向上

橋脚の補強事例

